

第8回 介護・医療連携推進会議 議事録

ステップこはま24hケアステーション

書記：計画作成責任者

開催日時：平成29年9月14日（木）14時～15時半

開催場所：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 会議室

出席者：宝塚市医師会様、小浜自治会長様、民生児童委員様、
地域包括支援センター管理者様
(事業所出席者) 訪問サービス課 副課長、管理者、計画作成責任者

欠席者：介護保険課様、ご家族様、連携訪問看護ステーション管理者様

議題1. 事業内容。運営実績報告書を基に説明。

- ・現在利用者、9月は入院者2名あり、実利用者数13名。入院者2名は、日程は未定だが戻ってくる予定。
- ・8月下旬に1名熱が続き、1週間限定で介護+医療に切替えて訪問する。
- ・7月より、1名「暑い」「寒い」「息苦しい」と深夜に緊急連絡端末からのコールあり、訪問。発汗もあり更衣・排泄・水分補給介助を行った。深夜1～3時で随時訪問。
8月～定期訪問予定検討矢先にレスパイト入院となる。
- ・8月は15回/月 コールあり、うち訪問は14件。本人・家族からのコールだけではなく、訪問したヘルパーから報告あり訪問することもある。
- ・前回の会議の時と同様、現在の受入れ状況は、定期巡回に対する問い合わせがあるも、人力的な問題から新規の受け入れが困難である。またご利用者においても、新たな定期訪問の追加も非常に厳しく、定期巡回の本来の柔軟な対応が厳しい状況である。

議題2. 自己評価の報告

- I - 5 7/14 合同カンファレンス実施。『実利用者の看取り』について。
穏やかに過ごしてもらえよう、ヘルパー・看護師・セラピストで何が
できるかを話し合った。また、本人・家族の想いを確認していく事の大切
さを学ぶ場ともなった。
- I - 6 ケア時間の集中や訪問回数増による人員配置が課題。
深夜1時の定期訪問検討。
- I - 7 連携先訪問看護ステーション様と協力し、ケアマネジャーにサービス担当者会

議の開催を依頼し、実施ができた。

- II - 1 1 熱発、脱水リスク予防. ケアの追加をして水分補給実施。
- II - 1 2 話し合う事があれば、タブレットを通じて情報を担当者間で共有する。
しかし、基本は顔を合わせ、情報共有を行うこと。
- II - 1 4 項目番号11と同様。
- II - 1 5 人員不足もあり、調整が困難になりつつある。
随時訪問は概ね行なえている。
- II - 2 8 ホームページには上がっているが迅速とは言い難い。
ホームページはスマートフォン対応にしているのかと質問あり。
※会議後、スマートフォン対応にはなっていないと確認した。
- II - 2 9 人員不足のこともあり、広報周知が出来ていない。
その中で、県の定期巡回・随時対応型訪問介護のリーフレット作成に
協力することはできた。

議題3. 外部評価・質疑応答

地域包括支援センター管理者様・・・夏場脱水になる高齢者が増加している。

空調管理や水分補給の方法はどうしているのか？

計画作成・・・高齢になるにつれ、温度感覚が衰えていく。特に認知症の方は、温度感覚が
責任者 わからなく、室内が暑くてもクーラーをつけず生活を送っている方や、声かけ
しても大丈夫と言う方が多い。

対応として、温度計を設置し、実際の気温を見て認識してもらう。また、
定期的な訪問に追加し、夏場は室温の確認、空調の調整を行い、
水分補給を促している。

民生児童委員様・・・水分を摂らない人もいるが、その様な方々にはどのような対応をして
いるのか？

計画作成・・・本人が好んで飲んでいたり、飲みたいものがあればすすめている。
責任者 ジュースなど味のしっかりした飲み物や、トロミをつけたりゼリーやアイス
クリームでも良いと思う。

自治会長様・・・地域に浸透して行けば良いのだが。そこが、難しいのだろうか。
民生児童委員様・・・前の会議でも、夜の対応の難しさも話していたが。民生委員としても、
夜の対応も難しい事がある。

管理者・・・地域に、浸透させたいサービスではあるが、現在、定期巡回の新規利用者の
受け入れが困難な状況。紹介はできても、受け入れができない状況。理由として、
朝・昼・夕と同じ時間帯にケアが集中している為、現状のヘルパーの人数では
訪問に限界がある。人員の確保も困難な状況に変わりがない。

医師会様・・・訪問回数も多い中、ヘルパーも大変だと思う。人が減っていく世の中でも
ある訳だし、良い意味でどれだけ手を抜いてケアをしていくかが大切。
IT化、電話での安否確認・TV電話など。医療分野では、遠隔診療が東京
で行われている。

次回開催予定

平成29年12月7日（木） 14時 ～ 15時半